

気仙沼市・東京海洋大学連携事業「“海と生きる”連続水産セミナー5thシーズン」 開催概要

【趣旨】

漁業者・水産関連事業従事者等の知識・情報力アップの一助とするため、日本で唯一の海洋に関する総合大学である東京海洋大学の知見を活かし、かつ学・民・官の幅広い講師陣による公開講座を連続的に開催し、資源、加工、流通、冷凍冷蔵等、水産に係る広範な事項について学ぶ機会とします。

【主催】

気仙沼市・東京海洋大学

【開催日程及びテーマ】

第4回 平成31年4月15日（月）午後3時～午後5時 於：気仙沼市魚市場会議室

テーマ：水産業の成長産業化と新しい資源評価・管理

講師：田中 健吾 氏（国立研究開発法人 水産研究・教育機構 理事）

要旨：昨年末の70年ぶりの漁業法改正で、水産業の成長産業化を目指す「水産政策の改革」が実行に移されることになりました。その改革の中で、資源管理を強化することにより資源を回復させることと、そのために資源評価を質的にも量的にも拡充することが求められています。本講演では、「水産政策の改革」の関係部分をお話しした上で、新しい資源評価を中心に具体的に説明しつつ、新しい資源評価・管理の遂行に向けた当機構の科学面での取り組みにつき紹介いたします。

講師経歴：東京水産大学水産養殖学科 卒業

平成30年4月～現在 現職。

その前は、水産庁において、約30年にわたり国際漁業関係を始めとする水産行政に従事。

第5回 平成31年5月22日（水）午後3時～5時 於：ワンテン庁舎2階大ホール

テーマ：「海洋プラスチックごみに関する調査研究の現状と課題

～マイクロプラスチックについて分かっていること、まだ分からないこと

（仮）」

講師：東海 正 氏（東京海洋大学 理事（教育・国際担当）兼副学長）

※第5回以降のセミナーについては、あらためてご案内いたします。

【その他】

連続講座ですが、随時受講も可能です。

経営者、または将来の経営幹部候補職員等の受講を期待しておりますが、テーマによっては、若手職員の研修の場としていただきたいと思いますと考えております。

【問合せ・連絡先】

気仙沼市産業部水産課（22-6600 内線 513・担当：吉田）

「海と生きる」連続水産セミナー」開催実績（第2期～） ※所属等は開催当時のものです。

【第2期】

第1回 H28. 1. 21	テーマ：「水産物の鮮度保持と冷凍保管～気仙沼の美味しい水産物を全国に～」 講 師：岡崎 恵美子（東京海洋大学 食品生産科学部門 教授）
第2回 H28. 2. 15	テーマ：「サンマ資源の保存と管理」 講 師：森下 丈二（水産総合研究センター 国際水産資源研究所 所長） 中神 正康（水産総合研究センター 東北区水産研究所 主任研究員）
第3回 H28. 3. 18	テーマ：「日本漁業論 ～何が求められているか～」 講 師：濱田 武士（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 准教授）
第4回 H28. 4. 27	テーマ：「ここまできた！「陸上養殖」の世界」 講 師：遠藤 雅人（東京海洋大学 海洋生物資源学部門 助教）
第5回 H28. 6. 9	テーマ：「今後の食の環境と私の仕事観 ～人輝く、食の未来～」 講 師：小林 浩（日本ハム株式会社 元 社長・会長、現 顧問（東京水産大学（現 東京海洋大学）卒業））

【第3期】

第1回 H28. 12. 1	テーマ：「水産物の流通はどうなっているか ～産地の方向性とマーケティングの可能性を考える～」 講 師：中原 尚知（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 准教授）
第2回 H29. 1. 29	テーマ：「中国漁業の概要と操業の実態について」 講 師：胡 夫祥（東京海洋大学 海洋生物資源学部門 教授）
第3回 H29. 3. 22	テーマ：「産地と消費地を結ぶ流通システム ～水産サプライチェーンの効率化・強靱化に向けて～」 講 師：黒川 久幸（東京海洋大学 流通情報工学部門 教授）
第4回 H29. 4. 25	テーマ：「消費者に情報を届けるトレーサビリティとリスクコミュニケーション」 講 師：小川 美香子（東京海洋大学 食品生産科学部門 准教授）
第5回 H29. 5. 27	テーマ：「近年のサンマの分布変化と日本漁業への影響」 講 師：巢山 哲（水産研究・教育機構 東北区水産研究所 主任研究員）

【第4期】

第1回 H29. 12. 6	テーマ：「国内外比較から見た我が国産地漁港・魚市場における情報通信技術の活用の可能性 ～漁業地域再生プロジェクトの今後の展開を踏まえて～」 講 師：中泉 昌光（東京海洋大学 先端科学技術研究センター 特任教授）
第2回 H30. 1. 30	テーマ：「次世代の水産業を担う若手人材はどう育てる？ ～グローバル化のさらなる推進を見据えた人材育成の考え方～」 講 師：小松 俊明（東京海洋大学 グローバル人材育成推進室 教授）
第3回 H30. 3. 17	テーマ：「どうなる日本の漁業 北太平洋漁業委員会（NPFC）でのサンマ、サバをめぐる議論を追う」 講 師：森下 丈二（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 教授）
第4回 H30. 4. 26	テーマ：「カツオの国際資源管理の動向について」 講 師：福田 工（水産庁資源管理部国際課 調査官） テーマ：「西日本での春期鯉漁況と、鯉一本釣船の漁況について」 講 師：東 明浩（宮崎県水産試験場 専門技師） テーマ：「カツオの成長・群わけと東北海域における今期の来遊予測」 講 師：谷津 明彦（（一社）漁業情報サービスセンター 技術専門員）
第5回 H30. 5. 23	テーマ：「日本の水産業の新たな発展に資する水産エコラベル構築を目指して」 講 師：垣添直也（一般社団法人マリンエコラベルジャパン協議会会長、元東京海洋大学理事・日本水産㈱前社長）

【第5期】

第1回 H30. 12. 6	テーマ：「世界の漁船漁業と漁船員教育の現状」 講 師：酒井 久治（東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門 教授）
第2回 H31. 1. 24	テーマ：「選ばれる日本」を目指す労働力確保と育成の視点 ～外国人労働力に支えられる日本の水産業の未来を考える～ 講 師：小松 俊明（東京海洋大学 グローバル教育研究推進機構 教授）
第3回 H31. 3. 15	テーマ：「正しい冷凍技術の理解と新規水産事業展開の可能性」 講 師：鈴木 徹（東京海洋大学 食品生産科学部門 教授）